

利根・沼田の教育

発行所 利根教育事務所
 発行人 田村 義和
 〒 378-0031 沼田市薄根町 4412 番地
 TEL 0278-23-0165 FAX 0278-23-0180
 E-mail : tonekyou@pref.gunma.lg.jp

魔法の小枝

利根教育事務所 管理主監 木樽 一秀

体育科、運動領域、内容の体づくり運動に「体ほぐしの運動」が加えられた当時、この運動に関する研修会が多く開催され例が示されましたが、その中の1つに「魔法の小枝」がありました。これは、2人組になって互いの指の腹で長さ15cmくらいの小枝をはさみ、落とさないようにしながら、腕を上下に動かしたり、歩いたりするものでした。

研修後、5年生の体育で実践してみました。最初は、すぐに落としてしまう姿も見られましたが、しばらくすると、指をかえたり、動いたりと変化をつけても上手に小枝を落とさずに動いていました。子どもたちに、「どんなふうにした？」と投げかけると、「A君の押す強さと合わせた。」「C子さんの動く早さと同じくした。」「声を掛け合っただけで同じ早さで動いた。」など、自分や自分たちが工夫したことが多く発表されました。共通していたのは、相手を意識したことや相手と合わせたことなど、相手を大切にしたことでした。1本の小枝が、子どもの心と体を結び、互いを感じながら動きを作らせていました。

この授業で一番印象に残っているのは、子どもたちの笑顔です。枝を落とさずに上手にできたということもあるかと思いますが、互いに相手のことを考え協力して取り組んでいたことへの喜びもあったのではないかと思います。

子どもたちの姿から感じたことを大切に、目には見えない1本の小枝を感じながら仕事をしたいと思っています。

生涯学習係 先生方もステップアップを！～生涯学習係の研修会や講座にご参加下さい～

生涯学習係では、人権教育に関する参加体験型学習や家庭教育支援についてなど、学校の先生方の指導にも生かせる様々な研修会や講座を実施しています。その中で、特に参加した先生方に好評をいただいた「ぐんま県民カレッジ「オープンキャンパス」大学等出前講座」を紹介します。

講座名：『発達障害を抱える人への理解と対応』 全3回(夜間:平成28年9月27日、10月5日、10月11日)

講師:国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 診療部長 有賀道生先生

講座内容の紹介

☆第1回「発達障害への理解」－発達障害を抱える人の感じ方、行動について、基本的な理解を図りました。

怒られることをわざとやっているわけではなく、「わかってもらえない」と悩んでいます。ストレスを感じるのは人間関係だということは、我々と一緒です。ただ、悩みを抱えやすく解決しにくいのです。

☆第2回「発達障害を抱える人への対応」－参加者同士が意見交流をして、対応の在り方について考えました。 その子の思いを推し量り、その気持ちにより添うことが重要です。

☆第3回「現実に抱える課題への理解」－発達障害を抱える人の社会生活上の課題について、理解を深めました。 虐待の起こりやすい環境にあることや性に関すること等への配慮が必要です。



講師

参加者の声

- この講座を受けて、この子は「なぜ、暴れるのか」ではなく「どうしてほしいのか」と思うようになりました。少しでも子どもの気持ちをわかってあげられるように取り組んでいます。
- 発達障害の子と日々向き合ってきて、本当にこの対応でよいのかと思い悩んでいました。ところが、この講座を受けて、迷いが吹っ切れました。今は、自分を肯定して、自信をもって子どもと向き合うことができます。
- この講座を受けて、どの子への接し方も共通していると感じました。子どもが、楽しく社会生活を送れることが、一番大切であり、社会で生活するための基礎は周りの大人が支援していかなければならないと感じました。

生涯学習係では、今後も地域課題の解決に向けた研修会や講座を企画していきます。4月以降その都度、開催案内等いたしますので、ぜひ、先生方もご参加下さい。

